

## 2022年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年11月5日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 島津製作所  
 コード番号 7701 URL <https://www.shimadzu.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役 社長 (氏名) 上田 輝久

問合せ先責任者 (役職名) 理財部長 (氏名) 荒金 功明 TEL 075-823-1128

四半期報告書提出予定日 2021年11月8日 配当支払開始予定日 2021年12月2日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 2022年3月期第2四半期の連結業績(2021年4月1日~2021年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期第2四半期	202,067	13.0	28,836	46.8	29,366	50.9	20,485	47.2
2021年3月期第2四半期	178,765	△4.1	19,638	9.9	19,459	7.6	13,916	5.1

(注) 包括利益 2022年3月期第2四半期 22,419百万円 (36.4%) 2021年3月期第2四半期 16,435百万円 (83.8%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年3月期第2四半期	69.53	—
2021年3月期第2四半期	47.24	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2022年3月期第2四半期	505,073	352,338	69.8
2021年3月期	497,459	335,504	67.4

(参考) 自己資本 2022年3月期第2四半期 352,338百万円 2021年3月期 335,504百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年3月期	—	15.00	—	19.00	34.00
2022年3月期	—	20.00	—	—	—
2022年3月期(予想)	—	—	—	21.00	41.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

※配当については、本日(2021年11月5日)公表しました「剰余金の配当(中間配当)および期末配当予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

### 3. 2022年3月期の連結業績予想(2021年4月1日~2022年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	420,000	6.7	59,000	18.6	60,000	24.0	43,000	19.1	145.93

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※上記予想に関連する事項については、【添付資料】4ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、【添付資料】11ページ「四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2022年3月期2Q	296,070,227株	2021年3月期	296,070,227株
② 期末自己株式数	2022年3月期2Q	1,416,643株	2021年3月期	1,425,134株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2022年3月期2Q	294,649,498株	2021年3月期2Q	294,605,922株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 2021年8月5日に公表しました通期の連結業績予想は、本資料において修正しています。
2. 上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき算出したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想値と異なる可能性があります。なお、上記予想に関連する事項については、【添付資料】4ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

	頁
1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1)経営成績に関する説明 .....	2
(2)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	5
(1)四半期連結貸借対照表 .....	5
(2)四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	7
(3)四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	9
(4)四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	11
(継続企業の前提に関する注記) .....	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	11
(会計方針の変更) .....	11
(セグメント情報等) .....	12
3. 補足情報 2022年3月期第2四半期 決算の概要 .....	13

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における世界経済は、新型コロナウイルスの感染再拡大があったものの、ワクチン接種の進展や、各国政府の経済対策などにより需要回復の動きが見られました。

このような状況のもと、計測機器事業は、ヘルスケア、官庁・大学向けに主力の液体クロマトグラフ、質量分析システムが好調に推移したことに加え、新型コロナウイルス検出試薬キットや全自動PCR検査装置も増加しました。医用機器事業は、国内を中心に回復基調となりました。産業機器事業は、半導体製造装置向けターボ分子ポンプに加え、設備投資の回復に伴い油圧機器も好調に推移しました。航空機器事業は、防衛分野における前年大口案件の反動減や民間航空機の需要が減少したことにより、厳しく推移しました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高は2,020億6千7百万円(前年同期比13.0%増)、営業利益は288億3千6百万円(同46.8%増)、経常利益は293億6千6百万円(同50.9%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は204億8千5百万円(同47.2%増)となり、過去最高の業績を達成しました。

各セグメントの状況はつぎのとおりです。

なお、第1四半期連結会計期間より、報告セグメントごとの業績をより適切に管理するため、管理部門費の配賦方法を、より合理的な基準に基づき配賦する方法に変更しています。前年同期比較については、前年同期の数値を変更後の算定方法に基づき組替えて比較しています。

## I. 計測機器事業

ヘルスケアでは、医薬・受託分析向けに、主力の液体クロマトグラフや質量分析システムが好調に推移しました。また、新型コロナウイルス検出試薬キットや全自動PCR検査装置も増加しました。製造業では、化学向けにガスクロマトグラフが増加するなど回復基調にあります。官庁・大学では、各国政府の予算執行が進んだことや大学の再開により、液体クロマトグラフや質量分析システムなどが増加しました。

この結果、当事業の売上高は1,306億3百万円(前年同期比19.0%増)となり、営業利益は売上の増加などにより、243億3千9百万円(同45.2%増)となりました。

なお、売上高についての主要地域別の状況は下記のとおりです。

	2021年3月期 第2四半期 (百万円)	2022年3月期 第2四半期 (百万円)	増減率 (%)	概況
日本	42,089	49,487	17.6	新型コロナウイルス検出試薬キットや全自動PCR検査装置の販売が増加。また、補正予算需要を取り込み、官庁向けが大幅に増加。
北米	12,343	15,043	21.9	民間企業の設備投資が拡大。医薬、臨床向けに液体クロマトグラフなどが好調に推移したことに加え、官庁・大学の需要も回復。また、新型コロナウイルス検出試薬キットも貢献。
欧州	11,332	13,792	21.7	食品安全や受託分析の需要が回復したことに加え、大学では前年のロックダウンの影響が解消し、液体クロマトグラフや質量分析システムが大幅に増加。
中国	28,145	32,754	16.4	医薬品メーカーや受託企業による設備投資が進むと共に、食品安全の規制が強化されたことから、医薬・食品安全向けに液体クロマトグラフや質量分析システムが好調。また、化学向けにおいてガスクロマトグラフが増加。
その他のアジア	12,132	14,243	17.4	新型コロナウイルス感染再拡大の影響を受けたものの、医薬向けに液体クロマトグラフや質量分析システムが増加。

## II. 医用機器事業

医療機関の設備投資は回復基調にあり、国内を中心に需要が戻りつつあります。新型コロナウイルスの肺炎診断で用いられる回診用X線撮影装置の需要は、一部地域を除き減少しましたが、一般撮影システム、X線TVシステムは増加となりました。

この結果、当事業の売上高は320億5千8百万円(前年同期比4.7%増)となり、営業利益は売上の増加などにより、26億9千1百万円(同92.4%増)となりました。

なお、売上高についての主要地域別の状況は下記のとおりです。

	2021年3月期 第2四半期 (百万円)	2022年3月期 第2四半期 (百万円)	増減率 (%)	概況
日本	15,888	18,195	14.5	補正予算需要に伴う設備投資回復により、X線TVシステムやX線撮影システムが増加したことに加え、アフターマーケット事業も好調。
北米	4,277	3,968	△7.2	医療機関の設備投資は回復基調にあるものの、回診用X線撮影装置の需要が減少。
欧州	2,072	1,482	△28.5	回診用X線撮影装置の需要が大幅に減少。
中国	2,670	2,366	△11.4	国産品との競争激化に加え、入札の遅延などにより設備投資が停滞。
その他のアジア	2,880	3,179	10.4	東南アジアにおいて新型コロナウイルスの感染再拡大により、回診用X線撮影装置の売上が大幅に増加。

## III. 産業機器事業

第5世代通信網への対応、IoTといったDX推進に伴う半導体需要の増加などにより、ターボ分子ポンプが好調に推移しました。加えて、電子基板用のガラス繊維需要拡大に伴いガラスワインダも大幅に増加しました。また、産業車両・建設機械分野の需要が回復し、油圧機器の売上も大幅に増加しました。

この結果、当事業の売上高は267億5千4百万円(前年同期比30.5%増)となり、営業利益は売上の増加などにより、27億1千1百万円(同98.0%増)となりました。

なお、売上高についての主要地域別の状況は下記のとおりです。

	2021年3月期 第2四半期 (百万円)	2022年3月期 第2四半期 (百万円)	増減率 (%)	概況
日本	10,835	13,225	22.1	半導体製造装置向けターボ分子ポンプや、産業車両・建設機械向けに、油圧機器が好調に推移。
北米	2,715	3,666	35.0	半導体製造装置向けターボ分子ポンプや、産業車両・建設機械向けに、油圧機器が好調に推移。
欧州	1,054	1,464	38.8	半導体製造装置向けターボ分子ポンプが好調に推移。
中国	3,900	5,799	48.7	半導体製造装置、建材ガラス向けにターボ分子ポンプが好調に推移。また、油圧機器やガラスワインダも大幅に増加。
その他のアジア	1,951	2,543	30.4	ガラスワインダが大幅に増加。ターボ分子ポンプのアフターサービスも好調に推移。

## IV. 航空機器事業

防衛分野は前年大口案件の反動減により大幅な減収となりました。民間航空機分野では、新型コロナウイルス感染症の影響を受け航空機の需要が減少したことから減収となりました。

この結果、当事業の売上高は102億6百万円(前年同期比36.2%減)となり、営業損失は防衛分野の売上の減少などにより、3億3千2百万円となりました(前年同期は8億5千9百万円の営業利益)。

なお、売上高についての主要地域別の状況は下記のとおりです。

	2021年3月期 第2四半期 (百万円)	2022年3月期 第2四半期 (百万円)	増減率 (%)	概況
日本	13,979	8,362	△40.2	防衛分野における、前年大口案件の反動減。
北米	1,929	1,731	△10.3	民間航空機の需要が減少。

## V. その他の事業

当事業の売上高は24億4千4百万円(前年同期比29.7%増)となり、営業利益は3億3千8百万円(同90.9%増)となりました。

## (2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の見通しにつきましては、世界的な半導体不足、米中対立などの地政学的なリスク等、事業環境の不透明感は今後も継続するものと予想されます。一方、国内外で進むワクチン接種により、社会経済活動の正常化が進むことが想定されています。

このような事業環境のもと、北米や欧州を中心とした医薬などのヘルスケア市場に向けて、主力の液体クロマトグラフや質量分析システムに注力するとともに、需要拡大が続いている半導体市場向けにターボ分子ポンプのシェア拡大を図り、業績拡大に努めてまいります。

連結業績予想につきましては、当第2四半期連結累計期間における業績の進捗状況を勘案し、2021年8月5日に公表しました予想を見直しています。

(単位:百万円)

	2022年3月期 連結業績予想	対前期 増減率	(参考) 前回公表時
売上高	420,000	6.7%	410,000
営業利益	59,000	18.6%	53,000
経常利益	60,000	24.0%	52,000
親会社株主に帰属する 当期純利益	43,000	19.1%	39,000

※上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき算出したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想値と異なる可能性があります。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	112,760	133,009
受取手形、売掛金及び契約資産	117,857	103,920
商品及び製品	59,117	58,354
仕掛品	18,383	19,755
原材料及び貯蔵品	20,150	21,628
その他	9,296	8,469
貸倒引当金	△2,119	△1,909
流動資産合計	335,446	343,228
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	53,016	52,221
機械装置及び運搬具(純額)	6,366	6,447
土地	18,955	18,952
リース資産(純額)	2,275	1,997
建設仮勘定	1,703	1,853
その他(純額)	20,075	19,583
有形固定資産合計	102,392	101,056
無形固定資産		
11,615		11,029
投資その他の資産		
投資有価証券	13,663	15,106
長期貸付金	132	141
退職給付に係る資産	19,175	19,413
繰延税金資産	11,498	11,604
その他	3,883	3,840
貸倒引当金	△348	△346
投資その他の資産合計	48,005	49,759
固定資産合計	162,013	161,845
資産合計	497,459	505,073

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	61,424	55,093
短期借入金	1,462	1,488
リース債務	3,568	3,230
未払金	12,960	11,864
未払法人税等	7,645	7,083
契約負債	35,696	35,862
賞与引当金	11,430	11,049
役員賞与引当金	292	199
受注損失引当金	126	75
火災損失引当金	-	527
その他	9,490	9,056
流動負債合計	144,096	135,530
固定負債		
長期借入金	281	243
リース債務	4,945	4,638
役員退職慰労引当金	132	141
退職給付に係る負債	11,342	11,193
株式給付引当金	89	98
その他	1,066	888
固定負債合計	17,857	17,204
負債合計	161,954	152,735
純資産の部		
株主資本		
資本金	26,648	26,648
資本剰余金	34,910	34,910
利益剰余金	262,966	277,851
自己株式	△1,259	△1,243
株主資本合計	323,267	338,167
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	6,579	7,627
為替換算調整勘定	118	978
退職給付に係る調整累計額	5,540	5,565
その他の包括利益累計額合計	12,237	14,170
純資産合計	335,504	352,338
負債純資産合計	497,459	505,073



(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 四半期連結損益計算書  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)
売上高	178,765	202,067
売上原価	108,830	117,859
売上総利益	69,935	84,208
販売費及び一般管理費	50,296	55,371
営業利益	19,638	28,836
営業外収益		
受取利息	109	132
受取配当金	264	151
受取保険金	112	58
助成金収入	298	373
その他	248	282
営業外収益合計	1,033	998
営業外費用		
支払利息	72	85
為替差損	619	61
その他	520	321
営業外費用合計	1,212	468
経常利益	19,459	29,366
特別利益		
固定資産売却益	37	74
特別利益合計	37	74
特別損失		
火災損失	-	758
固定資産処分損	79	67
投資有価証券評価損	61	13
特別損失合計	141	839
税金等調整前四半期純利益	19,354	28,601
法人税、住民税及び事業税	3,094	8,637
法人税等調整額	2,343	△521
法人税等合計	5,438	8,115
四半期純利益	13,916	20,485
親会社株主に帰属する四半期純利益	13,916	20,485

四半期連結包括利益計算書  
(第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)
四半期純利益	13,916	20,485
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2,269	1,048
為替換算調整勘定	304	860
退職給付に係る調整額	△55	24
その他の包括利益合計	2,518	1,933
四半期包括利益	16,435	22,419
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	16,435	22,419
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	19,354	28,601
減価償却費	7,577	8,031
火災損失	-	758
貸倒引当金の増減額(△は減少)	37	△225
賞与引当金の増減額(△は減少)	△224	△390
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△125	△93
退職給付に係る資産及び負債の増減額	168	△382
受取利息及び受取配当金	△374	△284
支払利息	72	85
為替差損益(△は益)	17	△75
投資有価証券売却及び評価損益(△は益)	61	13
有形固定資産除売却損益(△は益)	42	△6
売上債権の増減額(△は増加)	14,981	14,226
棚卸資産の増減額(△は増加)	222	△2,457
仕入債務の増減額(△は減少)	△11,148	△6,563
契約負債の増減額(△は減少)	-	△95
その他	6,179	△545
<b>小計</b>	<b>36,844</b>	<b>40,596</b>
利息及び配当金の受取額	375	285
利息の支払額	△71	△84
法人税等の支払額	△5,816	△9,265
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>31,331</b>	<b>31,531</b>
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
固定資産の取得による支出	△7,268	△4,603
固定資産の売却による収入	104	300
投資有価証券の取得による支出	△32	△1
貸付けによる支出	△1	△27
貸付金の回収による収入	15	19
その他	436	3,355
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△6,746</b>	<b>△955</b>

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の返済による支出	△223	-
長期借入金の返済による支出	△147	△12
コマーシャル・ペーパーの発行による収入	10,000	-
コマーシャル・ペーパーの償還による支出	△10,000	-
配当金の支払額	△4,436	△5,596
リース債務の返済による支出	△1,788	△2,071
自己株式の増減額(△は増加)	162	15
財務活動によるキャッシュ・フロー	△6,433	△7,664
現金及び現金同等物に係る換算差額	88	691
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	18,240	23,602
現金及び現金同等物の期首残高	66,683	106,855
非連結子会社との合併に伴う現金及び現金同等物の増加額	196	-
現金及び現金同等物の四半期末残高	85,119	130,458

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項および「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号 2019年7月4日)第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することとしました。なお、当第2四半期連結累計期間において、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

## (セグメント情報等)

## 1)セグメント情報

報告セグメントごとの売上高および営業利益又は営業損失の金額に関する情報

前第2四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	計測機器	医用機器	産業機器	航空機器	計				
売上高									
外部顧客への売上高	109,757	30,618	20,509	15,995	176,880	1,885	178,765	-	178,765
セグメント間の 内部売上高	4	11	41	-	57	858	916	△916	-
計	109,761	30,630	20,550	15,995	176,938	2,743	179,682	△916	178,765
セグメント利益	16,764	1,398	1,369	859	20,392	177	20,569	△931	19,638

当第2四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	計測機器	医用機器	産業機器	航空機器	計				
売上高									
外部顧客への売上高	130,603	32,058	26,754	10,206	199,623	2,444	202,067	-	202,067
セグメント間の 内部売上高	5	24	33	3	66	939	1,006	△1,006	-
計	130,608	32,082	26,788	10,210	199,690	3,384	203,074	△1,006	202,067
セグメント利益 又は損失(△)	24,339	2,691	2,711	△332	29,410	338	29,749	△912	28,836

報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間より、報告セグメントごとの業績をより適切に管理するため、管理部門費の配賦方法を、より合理的な基準に基づき配賦する方法に変更しています。

なお、前第2四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の算定方法に基づき作成したものを記載しています。

## 2)関連情報

地域ごとの売上高の金額に関する情報

前第2四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)

(単位:百万円)

日本	米州	欧州	中国	その他のアジア	その他	合計
84,678	23,214	14,506	34,720	16,999	4,647	178,765

当第2四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)

(単位:百万円)

日本	米州	欧州	中国	その他のアジア	その他	合計
91,714	27,087	16,819	40,927	19,988	5,531	202,067

(注) 本邦以外の区分に属する主な国または地域

米州

:アメリカ

欧州

:イギリス、ドイツ

中国

:中国

その他のアジア

:インド、東南アジア、韓国、台湾

その他

:オーストラリア、中近東、アフリカ

## 3. 補足情報

## 2022年3月期第2四半期 決算の概要

行 番		2021年3月期	2022年3月期	対前年同期		2021年3月期	2022年3月期	
		第2四半期	第2四半期			2021年3月期	2022年3月期	
		連結累計期間	連結累計期間	増減額	増減率	実績	予想	
1	売上高	百万円	178,765	202,067	23,301	13.0%	393,499	420,000
2	売上高(計測機器)	百万円	(109,757)	(130,603)	(20,845)	(19.0%)	(248,550)	—
3	売上高(医用機器)	百万円	(30,618)	(32,058)	(1,439)	(4.7%)	(66,903)	—
4	売上高(産業機器)	百万円	(20,509)	(26,754)	(6,245)	(30.5%)	(45,082)	—
5	売上高(航空機器)	百万円	(15,995)	(10,206)	(△5,788)	(△36.2%)	(28,560)	—
6	売上高(その他)	百万円	(1,885)	(2,444)	(559)	(29.7%)	(4,401)	—
7	地域別売上高【日本】	百万円	84,678	91,714	7,036	8.3%	193,420	—
8	地域別売上高【海外】	百万円	94,087	110,353	16,265	17.3%	200,078	—
9	海外売上高(米州)	百万円	(23,214)	(27,087)	(3,873)	(16.7%)	(47,793)	—
10	海外売上高(欧州)	百万円	(14,506)	(16,819)	(2,312)	(15.9%)	(32,703)	—
11	海外売上高(中国)	百万円	(34,720)	(40,927)	(6,207)	(17.9%)	(72,872)	—
12	海外売上高(その他のアジア)	百万円	(16,999)	(19,988)	(2,988)	(17.6%)	(37,094)	—
13	海外売上高(その他)	百万円	(4,647)	(5,531)	(883)	(19.0%)	(9,615)	—
14	営業利益	百万円	19,638	28,836	9,198	46.8%	49,742	59,000
15	経常利益	百万円	19,459	29,366	9,907	50.9%	48,378	60,000
16	親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益	百万円	13,916	20,485	6,569	47.2%	36,097	43,000
17	1株当たり四半期(当期)純利益	円	47.24	69.53	—	—	122.52	145.93
18	1株当たり配当金	円	15.00	20.00	—	—	34.00	41.00
19	設備投資	百万円	5,949	6,303	353	5.9%	14,471	17,000
20	減価償却費	百万円	7,577	8,031	454	6.0%	15,536	16,500
21	総資産	百万円	446,172	505,073	58,901	13.2%	497,459	—
22	純資産	百万円	305,382	352,338	46,955	15.4%	335,504	—
23	自己資本比率	%	68.4	69.8	—	—	67.4	—
24	連結従業員数	人	13,343	13,523	180	—	13,308	—
25	連結子会社数	社	76	76	—	—	76	—
26	(日本)	(社)	(23)	(23)	—	—	(23)	—
27	(海外)	(社)	(53)	(53)	—	—	(53)	—